

まめ知識① イスクラ冠元顆粒



「イスクラ冠元顆粒」は、丹参(たんじん)と5種類の生薬から構成されています。冠元顆粒(かんげんかりゅう)に使われている「丹参」は、四川省中江県の高原で栽培されています。この地は、GAP(中国政府が制定した高品質生薬畑としての基準)認定を受け、きれいな空気、汚染のないかんがい用水、残留農薬のない土壌という抜群の自然環境に管理されています。畑には鑑定済丹参の正統種子がまかれ、育成に適した有機肥料が必要な期間だけ使われ、収穫時まで厳しい管理体制で育成されます。こうした高度な栽培技術や細心の注意が、高品質な原料を支えています。(イスクラ産業株式会社ホームページより引用)

下田先生
「血流」がとても注目を浴びています。最近ではテレビや雑誌でも血行不良や血管年齢など度々取り上げられるようになり、「血流」がとても注目を浴びています。

中山先生
「血流」という言葉は注目されています。店頭で相談を受けていても、血流が良いと思える人は少ないです。「血流」という言葉は注目されています。具体的に「どういう状態が良いのか」などの部分についてはまだまだ認識がされていない印象があります。漢方の世界では血流についてはどのように考えられていますか?

下田先生
血流が注目されることはとても良いことだと思います。現代病の多くには多かれ少なかれ血流の問題が絡んできますからね。血流が良い人って、実際問題として少ないような気がします。

中山先生
店頭で相談を受けていても、血流が良いと思える人は少ないです。「血流」という言葉は注目されています。具体的に「どういう状態が良いのか」などの部分についてはまだまだ認識がされていない印象があります。漢方の世界では血流についてはどのように考えられていますか?

下田先生
血流が注目されることはとても良いことだと思います。現代病の多くには多かれ少なかれ血流の問題が絡んできますからね。血流が良い人って、実際問題として少ないような気がします。

中山先生
「気血船同」という言葉があります。「気の流れと血の流れは比例する」という意味に近いです。血の流れが悪くなると気の流れが悪くなり、イライラや落ち込みなど精神的な部分にも影響が出ます。逆を言えば血の流れが良くなると気の流れも良くなり、精神的にもストレスを発散することができます。まさに「気分が良い状態」ですね。

下田先生
私も時間があるときはなるべく体を動かすようにしています。ストレス対策にも運動で血流を良くすることは大切だと思います。

中山先生
私も現代人は運動不足、たばこ、入浴をシャワーで済ませ、ストレス過多、睡眠不足など瘀血になりやすい生活をしがちです。今はまだ症状がなくても10年後20年後のことを考えて対策はしておきたいですね。

下田先生
中山先生は週6日は運動しているとのことですが、とてもストイックですね(笑)

中山先生
私も時間があるときはなるべく体を動かすようにしています。ストレス対策にも運動で血流を良くすることは大切だと思います。

下田先生
瘀血が関連する病気は40種類以上とも言われています。代表的なものでいえば動脈硬化や高脂血症、血栓性血管炎、慢性腎炎、糖尿病、機能障害などがあります。そこまで重症でなくても頭痛や肩こり、生理痛なども瘀血の存在が疑われます。肩こりや頭痛、生理痛くらいだと鎮痛剤を飲んで痛みを抑えてやり過ごしてしまっ人も多いですが、それは根本を改善しているわけではないことを忘れてはいけません。なるほど、瘀血は万病の元。私も運動不足なので気を付けたいですね。

中山先生
瘀血は万病の元。私も運動不足なので気を付けたいですね。

下田先生
私も時間があるときはなるべく体を動かすようにしています。ストレス対策にも運動で血流を良くすることは大切だと思います。

中山先生
私も現代人は運動不足、たばこ、入浴をシャワーで済ませ、ストレス過多、睡眠不足など瘀血になりやすい生活をしがちです。今はまだ症状がなくても10年後20年後のことを考えて対策はしておきたいですね。

下田先生
瘀血の三大症状は「痛む」「むくむ」「黒ずむ」です。お客様の顔色や患部、訴えらるる3つのうちのいずれかが見られた場合は「瘀血」の可能性が高いと見立てて使用する漢方薬を選択します。頭痛や生理痛で「痛む」、血管や筋肉が「しこる」、肌の色、舌の色が「黒ずむ」などを見抜くポイントにしています。婦人系のお悩みですと生理時の経血にこれら3つの特徴がみられる場合は瘀血の可能性が高いです。

中山先生
中医ででは瘀血はどのように改善していくのですか?

下田先生
瘀血対策に使われる生薬はいろいろありますが、特に「丹参」にはとても期待しています。中国でも狭心症や心筋梗塞に積極的に使用されています。

中山先生
日本でも慢性腎炎や血管壁の活性酸素の除去についての研究もありました。血流改善の生薬としてこれからも注目されていくと思います。

下田先生
実際には「丹参」にさまざまな生薬を組み合わせた処方を使うことが多いです。人によって体質が違うわけですから、瘀血対策に使われる処方も人によって変わってきます。

中山先生
季節や体質の変化にも気を配る必要がありますね。自分の判断で安易に処方を選んでしまったり効果的でなかったり、かえって体調を崩してしまったりもありますから、服用する際は必ず専門家に相談することをお勧めします。また、漢方薬を飲んでいても日常生活が乱れているとうまく改善していきません。なので、必ず生活習慣のアドバイザーとしても参考にしてほしいです。

下田先生
なるほど、先生方が「かかりつけ漢方のスペシャリスト」と呼ばれる所以ですね?

中山先生
ありがたいお言葉です(笑)私たちがただ薬を売れば良い、という仕事をしているわけではありません。お客様が中医薬を通して素晴らしい人生を送っていただく、そのお手伝いをすることが根底にあります。お客様と長い付き合いができることはとてもうれしく思っています。

健康・美容の悩みを漢方相談薬局としてできることを精一杯に

大善堂シモダ薬局 下田弘通先生

天明堂薬局 中山貴央先生



仕事だけでなく、プライベートでも仲の良い二人。会話に話題は尽きない。

まめ知識② 活性酸素・フリーラジカルの消去と丹参

丹参の作用は、腎臓の機能をよくなるだけにとどまらない事がわかりました。なんと、強力な活性酸素消去作用があることがわかったのです。活性酸素・フリーラジカルは、私達がしている通常の呼吸で発生し、人体にとっては殺菌作用などの有益な役割をはたしています。しかし、これら活性酸素・フリーラジカルがさまざまな要因により体内で過剰発生すると一転して非常に有害なものになります。血管の内側にある内皮細胞が傷害されたり、体内の脂質に変化したりということが起こり、細胞膜やDNA、ミトコンドリアなどが致命的なダメージを受けるのです。その結果動脈硬化や糖尿病などの生活習慣病を引き起こしたり、最近ではアルツハイマーやがんの引き金になるなど、さまざまな病気の原因になることがわかってきました。また、細胞の加齢による変化も、どうやら活性酸素・フリーラジカルがかかわっているらしいことがわかってきています。(横澤隆子著 血管力をつければ病気はなおる)より引用

撮影会場



なちゅうらうつのみや
栃木県宇都宮市陽東6-4-5
TEL:028-683-5545

なちゅうらかさぎ
高崎市緑町4-5-7 TEL:027-388-8787